

第1章 「未来の信州」に向けて

長野県は、量的拡大といった従来の延長線上だけでは新たな課題の解決ができない難しい時代を迎えています。

また、東日本大震災の発生は、家族や社会とのつながりとともにエネルギーなど生活のあり方を見つめ直す契機となっています。

このような時代に、長野県の持つ優れた特徴がさらに輝きを放つ可能性が増大しています。

つまり、信州の強みを県民一人ひとりが磨き上げることで、世界に通用する新たな価値を創造していくことができます。

人と人、地域と地域のつながり合い、支え合いを大切にしながら、自然や伝統と最先端の技術を調和させて地域のあり様を最適にすることにより、質が高く、持続可能な社会を創造していきます。



第2章 基本目標

県民みんなで心をつなげて県づくりに取り組むための目標

「確かな暮らしが営まれる美しい信州」

「確かな暮らし」は…

明日への希望を持って日々の生活を送ることができ、万が一の場合には温かな支援を受けることができるという安心があることです。これは、持続可能な共生社会の中で実現されると考えます。

●「持続可能」とは

経済・地域が繁栄し、自然や環境はもとより社会保障制度などの社会システム、伝統・文化や農山村の暮らしなど、私たちが大切にすべきものが永続している姿

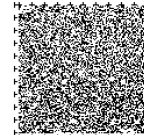
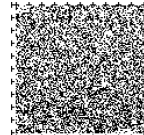
●「共生社会」とは

どんな人にも雇用、社会参加の場があり、人々が支え合いながら、豊かな自然環境とともに暮らしている社会

「美しい」は…

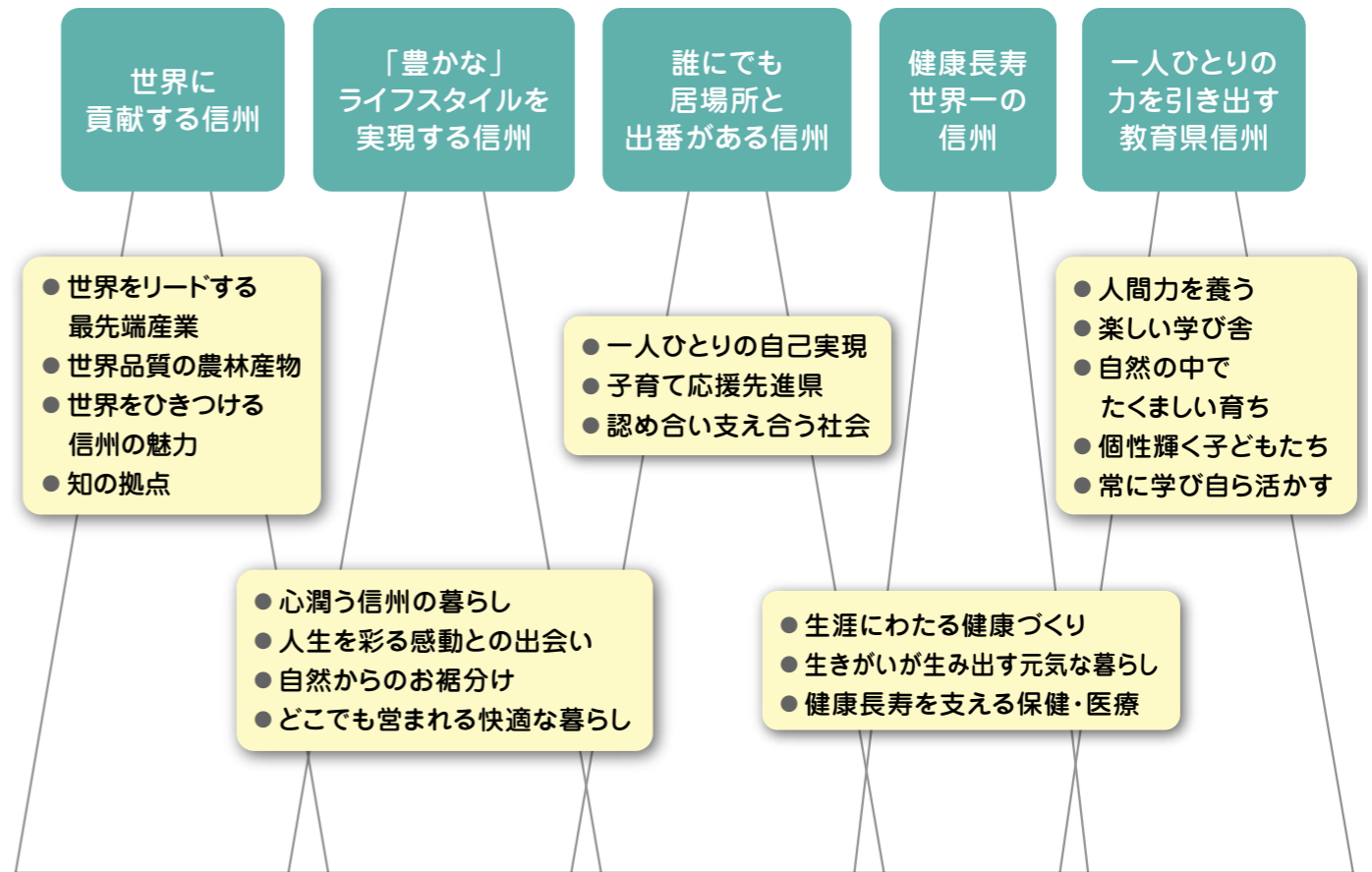
長野県や長野県民の次のようなあり様を表しています。

- 先人によって守り育てられてきた豊かな自然や農山村の原風景・町並みの美しさ
- 地域に息づく郷土への誇りや絆を大切にしている心
- 子どもから大人まで未来に向かってひた向きに努力している姿



第3章 私たちがめざす「未来の信州」の姿

今生まれた子どもたちが大人になる概ね20年後に私たちが次の世代に引き継ぎたい5つの長野県の姿を県民みんなをめざしていきます。



第4章 「未来の信州」の姿を支える仕組み

1 分厚い層が支える共創・協働の社会

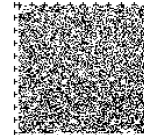
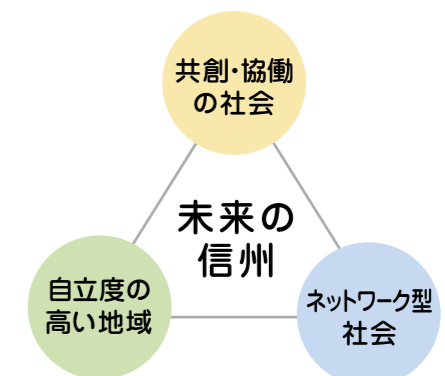
地域社会を構成する多様な主体と協働するなど地域を共に創造する仕組みが必要です。

2 信州独自の自治による自立度の高い地域

県と市町村、市町村間で相互に連携・補完し合う仕組みなどを検討する必要があります。

3 交流・連携を深めるネットワーク型社会

近隣県や大都市等とネットワークを構築して、効果的・効率的に課題を解決していく必要があります。



第1編 現状認識

第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像

第3編 今後5年間の政策推進の基本方針

第4編 プロジェクトによる施策の推進

第5編 施策の総合的展開

第6編 各地域がめざす方向との方策

第7編 計画を推進するための基本姿勢

第1編 現状認識

第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像

第3編 今後5年間の政策推進の基本方針

第4編 プロジェクトによる施策の推進

第5編 施策の総合的展開

第6編 各地域がめざす方向との方策

第7編 計画を推進するための基本姿勢